

京急川崎駅周辺地区 まちづくりニュースレター

第4号



KAWASAKI CITY

「ウォーカブルなまちづくりを目指して、
川崎府中線を相互通行化します」

発行日：令和7年12月
発行者：川崎市まちづくり局
拠点整備推進室

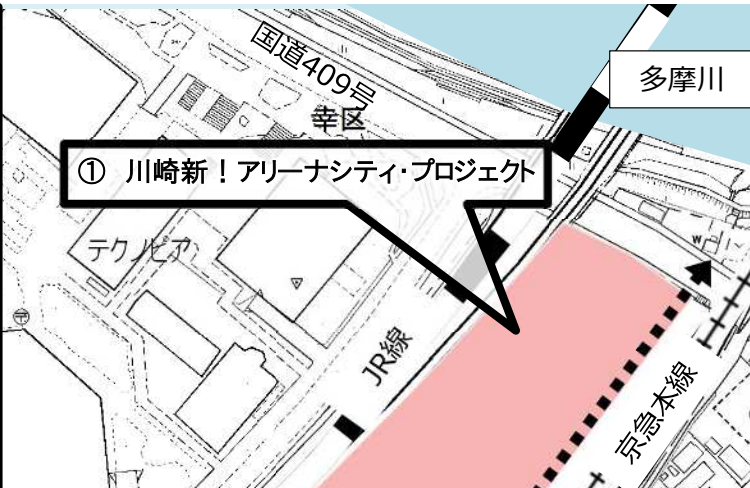
京急川崎駅周辺地区は、本市の広域拠点として、羽田空港に直結するなどの地理的優位性を活かし、川崎の玄関口にふさわしいまちづくりを官民連携のもと推進しています。

京急川崎駅周辺では、幹線道路の自動車交通を集約し駅前にゆとりと賑わいを生む滞留スペースを確保するため、現在、③都市基盤再編整備工事を鋭意施工中ですが、この度、川崎府中線の相互通行化の日時が決定しましたので、地域の皆様にお知らせするため、「まちづくりニュースレター第4号」を発行いたしました。引続きご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。 ※①、②、③はそれぞれ事業主体が異なります

<現状の道路>



① 川崎新！アリーナシティ・プロジェクト



令和8年2月28日(土)
深夜～
相互通行化開始！

都市基盤再編 (事業主体：川崎市)

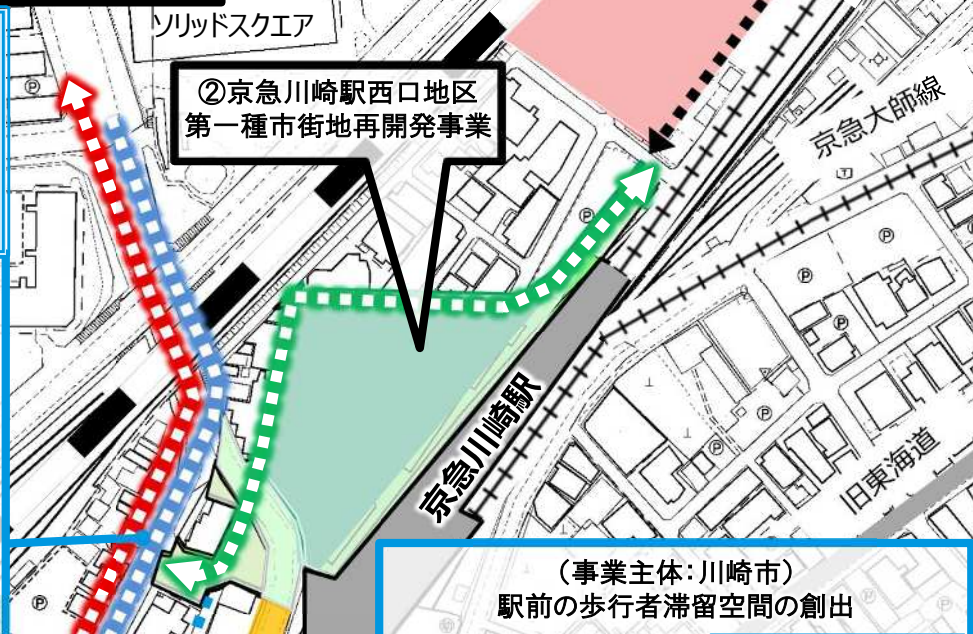
自動車交通の集約化(川崎府中線)

既存の空間を活用した相互通行化による駅前の歩行者空間を創出

既存の余剰空間
を活用して
『相互通行化』



②京急川崎駅西口地区 第一種市街地再開発事業



(事業主体：川崎市) 駅前の歩行者滞留空間の創出



裏面に各事業の進捗状況を記載していますので、ご確認ください。

(事業主体：川崎市)
路上荷さばきスペースの整備

(事業主体：川崎市)
タクシー乗降場の整備

凡例：各事業の事業主体

- ① (株) ディー・エヌ・イー 京浜急行電鉄 (株)
- ② 再開発組合 (予定)

※それぞれ事業主体が異なります

お問合せ先